



「未来づくり」の取り組みを深化させ、JR産業の魅力を向上しよう！

2023年 3月17日

日本鉄道労働組合連合会

JR東海ユニオン2023春闘交渉妥結

- ・標準乗数を「4」とする定期昇給の完全実施
- ・ベースアップ 1,000 円(35歳ポイント)
- ・夏季手当 2.7ヵ月 ※満額支給
- ・調整手当無級地に対し、新たに調整手当 10,000 円支給
- ・大鹿駐在者に対し、月額 40,000 円の特地手当新設

JR東海ユニオンは3月17日、2023春季生活闘争の団体交渉を開催し、会社から上表のとおり回答を引き出した。

この間の交渉では、長引くコロナ禍の影響で厳しい経営環境が続いてきた中、全組合員の努力によって3年ぶりの黒字決算となっていることを前提に、急激な物価上昇に対して基準内賃金の改善、安定支給ベースを割り込んだ期末手当からの脱却を掲げ、粘り強く団体交渉を続けてきた。一方で、会社は「賃金はすでに大企業を上回る水準であること、期末手当はコロナ禍においても一定の水準を維持してきたこと、当社の経営状況は依然として厳しいこと」などの見解を示してきた。

本日表示された回答は、物価高に伴う負担の軽減までには至らなかったものの、コロナ禍前の水準かつ3年ぶりとなるベースアップ1,000円の実現に加え、新たに調整手当無級地に勤務する者に対する調整手当10,000円の支給、大鹿駐在者に対し月額40,000円の特地手当の新設を引き出し、夏季手当についても安定支給ベースとなる2.7ヵ月の満額支給を引き出した。JR東海ユニオンの要求に対して満額とは至らなかったものの、組合員のこの間の努力と今後の期待に対する精一杯の回答であると判断し、妥結に至った。